

# 3歳児クラス 11月 第2回「わゴムはどのくらいのびるかしら？」

保…保育士 講…講師 ★…保育士が準備する教材

## シアタータイム

読み方	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもたちが想像力をふくらませながら聞くことができるようにゆっくりと読む。</li> <li>文が短く、無駄のない簡潔な表現がなされているのが魅力の絵本なので、絵本のよさを最大限に引き出すように読み進める。</li> </ul>	教材	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>★絵本</li> <li>★iPad(シアターセット)</li> <li>ゴム3M</li> </ul>	
導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>保:「今日いいもの持って来たんだー」とゴムを提示。</li> <li>講:「どれくらい伸びるかな？」保育士と一緒に伸ばしてみたり縮めてみたり(途中で曲がってみたり「まだまだ…」とお部屋から出て行くなど楽しく提示)してお話への興味がもてるようにする。</li> </ul>	保育士の役割	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゴムを持って登場</li> </ul>	

## がくしゅうタイム

活動①	実験	ゴムに興味を持ち伸び縮みを体感し、楽しんで実験に参加する	
設問	ゴムはどのくらいのびるでしょうか。実験しましょう。		なし
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>講:「ずいぶん伸びたね!でも無事お家に帰れて良かったね」</li> <li>保:「お届けものです」と平ゴムの入った封筒提示。</li> <li>講:封筒から平ゴム取り出し「びよーん、びよーん」と伸ばしたり縮めたりして提示。「『みんなもどれくらい伸びるか実験してみてください』だって。どのくらい伸びるかやってみる?」子どもたちの興味を引出しゴム配布。</li> <li>子:両手でゴムを持ってゴムの伸び縮みを体感する。 ※安全に配慮しながら、少し動きを大きく楽しむのも良い。 例)・足でゴムの真ん中部分を踏みながら伸ばす ・伸ばしながら物の高さ、長さを測る。「長ーい=伸ばす」「短ーい=ゴムがたるむ」など比較のことばで表現するのも良い。</li> <li>講:「ゴムって伸びたり縮んだり楽しいね!」と賞賛。ゴムは回収。</li> </ul>	教材 実験用平ゴム(30cm) 一人一本  保育士の役割 <ul style="list-style-type: none"> <li>・封筒提示</li> <li>・安全の配慮</li> <li>・子どもたちと一緒に なって実験を楽しむ</li> <li>・ゴム回収</li> </ul>	
活動②	製作	ロケットを飛ばすことをイメージし、意欲的に製作に参加し、完成したロケットを使って飛ばすことを楽しむ	
設問	ゴムを使って「わごむロケット」を作って遊びましょう		なし
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>保:「博士からの封筒の中にこんなものも入ってましたよ」と「わごむロケット」の完成品を提示。</li> </ul>	教材 ロケット用カード	

活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>講：「わごむロケットだって！」とばし方を見せながら「よく見ててよ！3・2・1 GO！」とロケットを飛ばして見せる。ゴムの力でジャンプする「わごむロケット」に子どもたちの興味を十分に引き出し「みんなも飛ばしてみる？」と誘う。</li> <li>保：「今日は自分で作ってくださいって、材料が届いてますよ」と材料提示。「今日もおはじき5個と交換です」</li> </ul>	<p style="text-align: right;">一人2枚</p> <p>輪ゴム          ※材料は一人ずつ皿の中に準備する          ※完成したものを提示用として1つ準備する</p> <p>製作指示書          ★クレヨン          ★セロハンテープ          ・おはじき          ・皿</p>
	<p><b>数にチャレンジ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>子：おはじき「5こ」と「3こ」の入った2枚のお皿を比較して「5こ」入った皿を選び材料を買いに行く。（又はその場で交換）              ※前回の理解度によっては「4こ」との比較にしても良い</li> <li>講：子どもたちと一緒に皿の中の材料を確認。別紙「指示書」を参考に見本提示をしながら子どもたちと一緒に作っていく。</li> <li>セロテープでの貼り合わせ部分やわごむの掛け方など難しい部分は講師、保育士が補助していく。</li> <li>出来上がったロケットを使って遊んでみる。              ※この時、環境の安全を確保し机から離れ床のマット上で遊べると良い。              ※お友だちや先生と競いあうように飛ばしても楽しい。              ※テープのはがれは随時講師、保育士が補修していく</li> <li>講：頃合いを見て飛ばしっこ終了の合図を出す。ロケットの完成と皆で楽しく遊べたことを賞賛。終了する。</li> </ul>	<p style="text-align: center;">保育士の役割</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「ロケット」提示</li> <li>・材料提示</li> <li>・おはじきと交換に材料を渡す</li> <li>・製作補助</li> <li>・環境整備</li> <li>・安全の配慮</li> <li>・子どもたちと一緒に遊んで飛ばしっこを楽しむ</li> <li>・ロケットの補修</li> <li>・カードの回収</li> </ul>

数チャレ	ねらい	<b>数</b>	「5こ」のかずの確認ができる	教材
設問	「5こ」のおはじのお皿を選んでロケットの材料を買いに行きましょう。			
活動内容	※<活動②>の中で実施します。			保育士の役割